

## 自治会1ル一記事：上池上自治会

### みんなで地域を守ってます

上池上自治会は昨年、法人資格を取得し、ようやく自治会として会館を持てるようになりました。おおよそ1年10か月が準備と署名のお願いに要した期間でした。多くの皆様からご署名をいただきありがたかったです。

それに、女性部の皆さんの日頃の地道な安全パトロールや、偶数月に中谷（なかや）駐在所前に集合し、全員での自治会内見守り活動により、犯罪抑止にも大きな効果を発揮できています。そしてなんと「警視総監賞」をいただきました。「生まれて初めてのことで、授賞式では代表に指名され大いに誇らしく思った。」と当自治会の会長が話されていました。

新年早々衝撃的な災害を目の当たりにしました。上池上自治会では、防災訓練・学習会等を年10回開催し、いざという時のための訓練を進めています。地域の皆様とともに、「自助」「共助」「公助」の意識を向上させて日頃の訓練をしっかりとすれば、「生きる」ことが出来ると思っています。令和6年3月21日には、大森十中の一年生の皆さん（約170名）と、避難所の避難者行動訓練や備蓄品の確認といった、生徒さんが将来の人材となっただけのような体験をしてもらいました。災害は忘れた頃にやってくる、繰り返し訓練を行うことが重要と思っています。

（上池上・船山 康夫）



（受賞した表彰状）



（警視総監賞受賞式の様子）

## 石川台にさようなら！

石川台に生まれ育ち75年の月日が経ちました。近所のおじさんおばさんに囲まれながら、楽しかったこと、大変だったことを思い出します。

青年会に参加し、バレーボール大会での勝利に向け練習し、みんなで楽しく汗を流すこともありました。自治会では盆踊りをはじめ、雪谷八幡神社の例大祭の神輿渡御、防災訓練、交通安全など、様々な行事に関わりました。お陰様で、多くの地域の方々との繋がりができました。

子供が小学生の時、少年野球の指導に携わりました。野球経験のない私に、監督・コーチたちが熱く野球を語り、子供たちへの指導方法なども教えてくれました。またこれをきっかけに、中学校ソフトボール部の外部顧問として招いていただきました。思春期の子供との接し方、言葉遣いなどに戸惑いもありましたが、先生や保護者の方々の協力のおかげで、楽しく指導することができました。

雪谷石川台自治会では会長を6年間勤めました。そして75歳を迎えるこの年に、石川台を離れる決断をしました。妹夫婦が住む埼玉県に移り住むことになりましたが、石川台を離れる寂しさとは裏腹に、新しい土地での生活が楽しみで仕方ありません。自宅の2階から富士山を眺めたり、庭で日向ぼっこしたり、家庭菜園をしたり・・・。

第2の人生がこれからはじまります。雪谷石川台での思い出を胸に、楽しく過ごしていきたいと思います。

さようなら、石川台！ありがとう、石川台！

（雪谷石川台・手塚 一）

### \*\* 編集後記 \*\*

新型コロナウイルス感染症の5類移行から1年が過ぎ、街にはすっかり賑わいが戻ってきました。4月28日(日)に開催された大田区子どもガーデンパーティー洗足池会場では7,800人越えの来場者となり、たくさんのお子様が見ている姿を見て微笑ましく思いました。

今年の夏も猛暑日が続く事が予想されます。それぞれが熱中症予防対策を講じた上で制限のない楽しい日々をお過ごしください。

今回より新委員2名が加わり9名にて、今後も魅力ある地域の情報発信をしてまいります。

（東雪・永久保 美代子）

#### 【編集委員】

笹丸・小林 忠雄／雪谷石川台・長谷川 可織／希望ヶ丘・阿部 倫子／南雪谷・河野 洋一郎／東雪谷東中・小山 智恵子／東雪・永久保 美代子／池の台・柏 三八子／小池・小山 憲生／上池上・船山 康夫

ふれあい雪谷(創刊・平成2年12月20日) 年4回発行  
(1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号)の1日発行  
【発行日】 令和6年 あさがお号 7月1日(通巻・第135号) 発行  
【発行】 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]ふれあい雪谷編集委員会  
【連絡先】 大田区地域力推進部雪谷特別出張所  
〒145-0065大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

# ふれあい雪谷

令和6年7月 あさがお号 通巻第135号

雪谷特別出張所管内(令和6年4月1日現在)

世帯数/31,419世帯(前年比311世帯増) 総人口/61,509人  
男/29,523人・女/31,986人



#### 東調布公園のD51

この機関車は伯備線(岡山県)で活躍していました。当時「布原の三重連」と鉄道ファンから絶大な人気を誇った花形機関車です。煙突部分は集煙装置を付けるため短く切られていますが、美しい姿を保っています。

小池・今成 修さんの作品

「ふれあい雪谷」のホームページは  
こちらからご覧いただけます。





## 居場所

昨年古稀を迎え生産性のある経済社会から離れて細々と年金生活を送っている身な私です。世間には外敵から自分の身や心を守れる自室にしか居場所が無く、何処にも出られず何もする事が出来ず、とても生き辛い状態に苦しんでおられる方、誰にも解ってもらえず孤独な日々を送らなければならない方もおられると聞いております。

私自身も何がトリガーとなって同じような状態に落ちるかわからない、難しい時代であります。今日は有難い事に偶然に得られた私の居場所のひとつを紹介させていただきたいと思います。

それは「無限孫」とも名付けたい活動で、俗に言う「通学路における見守り」で小学校PTAで当番で回って来るあの「交差点での旗振り」です。私の住んでいる地域の自治会の交通部には「見守り隊」という常設グループがあり、登校日には受け持ち交差点に毎朝7時45分から登校予定の全児童が通過し終わるまで立たせてもらっています。一年中なので、寒い日・暑い日・雨の日・雪の日等四季折々の季節における朝の約一時間弱を、小学生たちと同じ条件での路上で過ごしています。始めた当初は身体や精神が持つのか？と危惧もしましたが、毎朝一年生から六年生までと「おはようございます」の挨拶を交わし、孫みたいな年齢の児童達の成長を何の負担も無く見させてもらっているうちに毎朝会わずにはいられなくなりました。

彼ら彼女らも日々刻々と変化する実社会（学校生活や家庭等）に生きており、色々な刺激を受けて成長をしている姿を見て微笑ましく思ったり心配に感じたりと飽きる要素は無く、こちらこそその生命力のお裾分けを頂戴している日々です。

私も毎日彼らに見られており、用事で休んだ翌日には「おじさん昨日居なかったけどどうしたの？」とか散髪した翌日に「おじさん髪切った？」とか鋭い指摘を受けて緊張感も味わえて楽しく過ごせています。

そのうえ毎年進学による新陳代謝が重ねられ、私も老けていく暇は無く毎年四月には年齢をリセットし新学年に向き合います（笑）。

もし自宅から徒歩圏内の身近な所で大人ならではの気遣い・しがらみ等の無い居場所をお探しの方がおられるようでしたら、お勧めしてみたいお手軽ボランティアかもしれません。私と一緒に朝活をしておられる方には、自宅の前（玄関出て一歩の場所）で旗を持って通学の子供達と楽しく交流を続けておられる方も複数名おられます。皆さんも新しい居場所へのデビューは如何でしょうか？

(小池・青山 稔)



## 子ども食堂「カフェキャビン」のご紹介



南雪谷5丁目で、子ども食堂「カフェキャビン」を運営している井上と申します。

「カフェキャビン」では、毎月最終金曜日17:00~19:00に「キャビン子ども食堂」、第2月曜日11:30~13:30に「たんぽぽ子ども食堂」を開催しています。2022年3月、コロナ禍の真ただ中にスタートし、延べ参加人数は3,400名超となりました。

当子ども食堂はどなたでも参加可能です。

「一人でご飯を食べるのはちょっとさみしいな。」

「買ったお弁当ではなくて、手料理食べたいな。」

「今日のごはん作るの面倒だな。」

そんな理由でご利用いただいて構いません。

食材もなるべく大田区内で調達し、添加物も控えめの、体に優しいカレーを提供しています。ボランティアの方々のご協力も本当にありがたく、近隣の皆様の支えがあって、これまで運営してこれてきました！

昨今、核家族化も進み、雪谷地区でも子育て世代は近くにおじいちゃんおばあちゃんが不在ですし、一人暮らしの高齢の方も多く見受けられます。そういった状況の中、地域の助け合いがますます必要になるため、子ども食堂が地域交流の一つの拠点になればよいと考えています。また、近隣の子どものための活動として、絵本の読み聞かせ・ハンドメイド「こどもの森のひだまり」・不登校児童の居場所「むすびめ」も支援しており、夏休みには大田区の居場所支援事業にも参画し、さらに、子ども食堂に留まらず、雪谷地区がより良い子育て環境になるように、いろいろな人を巻き込んだ活動を思案しているところです。

昨年、自治会の青年部に所属しましたが、そこで地域のために活動する方々がたくさんいらっしゃる事を知りました。隣近所の触れ合いも少なくなったこのご時世ですが、お祭りや、餅つき・桜祭り・運動会など、地域活動への参加も、子ども食堂を通して発信しています。

みんなで、より住みやすい雪谷地区を作っていきたいです！

子ども食堂ではボランティアを募集しております。80歳のご婦人も大活躍中です！ぜひお声がけください！

(南雪谷・井上 加苗)

## 能登復旧現場での支援活動 街角で見つけました！



年明け早々の能登地震に心痛めた思いは半年たった今も癒えません。2月編集会議の帰り道、家近くの地元建設会社の外壁に何やら貼りつけてあったカラー写真を発見！近づいてみると地震災害現場での復旧工事の数枚の写真でした。

1月16日から22日までの水道施設復旧支援・東京都水道専門家協同の青い幟（のぼり）と共に駆けつけた白色ヘルメットに青い作業服での頼もしい助っ人の様子でした。

地元小池小学校そばにある文具店のご主人からの支援物資も荷台に乗せて、被災地の児童生徒のもとへと学用品一式が届けられたこともものに風の噂で知りました。

支援金ばかりでなく、現地ですぐに役立つ嬉しい身近な支援も出来たのだなあと改めて素早い近隣の方の行動力に関心し心が和みました。地域の底力という言葉がぴったりと胸に収まりました。その後伝わるニュースでは、現地の道路事情はまだまだ厳しく心配ばかりが募りましたが、新学期！テレビから流れる子供たちの笑顔は、なによりの救いでした。

日常への温かな援助の輪が、これからもいろいろな形で続けられていったらいいなあと思いました。

隠れた地域の底力・・・あなたの身近で見掛けたホットな出来事など、お近くの自治会の編集委員までお気軽にお声を掛けて教えてください。

(池の台・柏 三八子)

## 雪谷地区の表彰者

### ○春の叙勲（瑞宝単光章）

永久保 孝治

### ○令和6年度大田区自治会・町会正副会長20年以上 在職者に対する感謝状贈呈

手塚 一 竹内 雅夫

### ○自治会・町会役員永年在職者に対する感謝状贈呈

小林 忠雄	井上 和彦	金子 貴勇	八木 晴美
松谷 美穂	飯本 保	横関 克弘	西澤 健介
宮田 弘子	杉山 鈴子	金子 鐵三	永久保 美代子
米川 和弘	葛西 順子	中島 恵子	三谷 泰子
西田 ひろみ	室本 ヒデ子	馬場 麗子	吉川 武康
塚越 邦夫	古木 妙子	森井 利子	八田 仁知里
海老澤 恵一郎			

### ○令和6年度大田区交通安全功労者

雪谷石川台自治会（団体） 河村 圭司（個人）

### ○単位自治会・町会長退任に伴う感謝状贈呈

手塚 一